

リアルタイム現地情報

管内トマト生産者が農研機構を視察しました

11月2日(水)、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)のミニトマトの植物工場(つくば市観音台)を、トマト生産者5名が視察し、研究員からトマト栽培に関する助言を頂きました。

参加者は、農研機構の研究員から、収量向上のために目標とするべき LAI(葉面積指数)や茎径、増枝のタイミング、温度管理等について、直接助言を頂いたことで、これらの重要性について再確認するとともに、自らの経営に役立てるために、熱心に意見交換を行っていました。

普及センターでは、トマトにおいて、炭酸ガス施用等の環境制御技術による収量・品質向上やトマト黄化葉巻病を引き起こすコナジラミ類や、アザミウマ類等の難防除病害虫対策の推進によるトマトの生産性向上を今後も支援していきます。



銚田地域農業改良普及センター